

研究活動報告

長寿化・高齢化プロジェクトワークショップ

去る2月3日の13:00~17:30に、国立社会保障・人口問題研究所第4・第5会議室において「長寿化・高齢化プロジェクトワークショップ」を開催した。これは、当研究所の人口問題研究プロジェクト「長寿化・高齢化の総合的分析及びそれらが社会保障等の経済社会構造に及ぼす人口学的影響に関する研究」(平成26~28年度)が先行プロジェクト「わが国の長寿化の要因と社会・経済に与える影響に関する人口学的研究」(平成23~25年度)から通算して5年目に当たることから、両プロジェクトにおけるこれまでの研究成果の報告を中心としつつ、わが国における今後の死亡・健康研究に関して幅広い観点から検討・展望を行うことを目的として企画された。

ワークショップには、研究者、政策担当者、生命保険会社などの実務者、報道関係者など報告者を含め総勢76名の参加があり、討論では活発な議論も行われた。死亡・健康研究への関心の高さが改めて浮き彫りになったといえる。

当日のプログラムは以下のとおり。

開会挨拶

イントロダクション

セッション1 長寿化・高齢化分析のためのデータベース開発

<討論者> 高橋重郷 (明治大学)

「日本版死亡データベース (JMD) の現在と今後の展開」

.....石井太 (国立社会保障・人口問題研究所)

「わが国における長期時系列死因別死亡統計の構築に向けて」

.....大津唯・是川夕・石井太 (国立社会保障・人口問題研究所)

セッション2 健康寿命、医療と健康・長寿化

<討論者> 林玲子 (国立社会保障・人口問題研究所)

「疾病構造と平均受療期間の人口学的分析：1999~2011年」

.....別府志海 (国立社会保障・人口問題研究所)・高橋重郷 (明治大学)

「高齢期の健康状態等の出生コホート効果・年齢効果の検討」

.....泉田信行 (国立社会保障・人口問題研究所)

セッション3 長寿化・高齢化と年金・生命保険

<討論者> 弓場美裕 (国民年金基金連合会)

"The Reform of Mutual Aid Associations in Japan: Civil Service Employee Pension Reform in 2012"山本克也 (国立社会保障・人口問題研究所)

「長寿・死亡リスクの異質性に関する研究」井川孝之 (PwC あらた監査法人)

「長寿化・高齢化と生命保険アクチュアリー」高橋佳宏 (住友生命)

全体討論

閉会挨拶

(別府志海 記)